

〔科目名〕 <p style="text-align: center;">環境ビジネス論</p>	〔単位数〕 <p style="text-align: center;">2 単位</p>	〔科目区分〕 <p style="text-align: center;">専門科目</p>
〔担当者〕 <p style="text-align: center;">吉 田 肇 Hajime YOSHIDA</p>	〔オフィス・アワー〕 時間: 非常勤のため、オフィス・アワーがとれません 場所: 授業中にご質問いただくか、授業時間外はメールでも随時受付します。	〔授業の方法〕 <p style="text-align: center;">①講義</p>
〔科目の概要〕 <ul style="list-style-type: none"> 環境問題は時代とともに変化し、20世紀後半のローカルな「公害」は克服され、21世紀に向けてグローバルな「地球環境問題」が重要視されるようになり、現在はSDGs(持続可能な開発目標)が人類の共通課題となっている。 本科目では、このような「環境問題」の経緯と本質を学ぶとともに、企業の環境経営戦略への対応とSDGsの取組のための多様な「環境ビジネス」の動向について学ぶ。 毎回の授業には、学ぶべきテーマが定められている。授業はテーマに沿って、スライドや動画を織り交ぜながら進行する。 		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 <ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題の解決などSDGs(持続可能な開発目標)の取り組み、持続可能な循環型社会の構築が、人間社会の生存のため避けて通れない課題であり、本科目ではそのような環境問題解決に当たった基礎的素養が醸成される。 グローバルな環境問題からミクロな環境問題、あるいは企業人としての環境問題から一般市民としての環境問題という多様な環境観を学び、多岐にわたる環境対策技術や環境問題解決策を学び、よりよい人間社会の構築に貢献できる。 本科目を学ぶことにより、社会経済環境の潮流を把握するとともに、環境経済学的なものの見方や考え方、新しいビジネスモデルづくりの着眼点を習得できる。 環境と経済の両立について『環境経済学』を、環境経営の手法として『環境経営論』を履修することで理解が深まる。 		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 <ul style="list-style-type: none"> 中間目標 環境問題の本質とそれを解決するための対策方法について学び、環境ビジネスがどのように展開してきたかを理解することを目標とする。 最終目標 環境ビジネス市場の動向について学び、新たに期待される関連技術や今後必要とされる方向性について学び、将来の経済環境と調和した地域社会づくりについて、自分の思いを述べることを目標とする。 		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 <ul style="list-style-type: none"> 日程調整を図り、バランスよく開講する日程とします。 「教員の話は聞き取りやすくなかった」、「時間配分がうまくできていないときがあった」等のコメントがありました。授業の理解を助ける動画を交えたり、講義内容をコンパクトにするなど、メリハリのある内容にします。また、マイクを用いる、休憩時間の確保など、授業の進め方についてもさらに心がけてまいります。 本科目では、理解度を確保するための中間試験(小テスト)の実施や、授業後に質問・意見等を聴講カード(リアクションペーパー)にご記入いただき解説を加えるなど、学生諸君とフィードバックやコミュニケーションを図るようにします。 		
〔教科書〕 なし(毎回配付する講義資料、スライド等をベースとします)		
〔指定図書〕 なし		
〔参考書〕 <ul style="list-style-type: none"> 山守 麻衣(著) 『図解入門 最新環境ビジネスの動向とカラクリがよ〜くわかる本』(秀和システム, 2016年) 		

<p>・金原 達夫 (著) 『環境経営入門 ―理論と実践― [改訂版] 』(創生社, 2017 年)</p> <p>・村上 芽(著) 『図解SDGs入門』(日経BPM (日本経済新聞出版本部) , 2021年)</p>	
<p>〔前提科目〕 なし</p>	
<p>〔学修の課題, 評価の方法〕(テスト, レポート等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容などの詳細は, 授業の開始時に担当教員から提示する。 ・授業内容の中での重要事項は, 口頭や板書で強調するのでよく注意して授業に臨むこと。 ・毎回配付する「聴講カード」(リアクションペーパー)に学修内容に関する質問や意見などを具体的に記入し提出すること。また, 寄せられた質問や意見は, 翌回以降の講義の中でも実際に取り上げ, 受講者全体にフィードバックする。 ・授業の理解度や目標の到達度を確認するため, 中間試験(小テスト)を1回, 期末試験を1回実施する。 	
<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価のスケールは, ①中間試験(小テスト)及び期末試験により, 理解度及び到達度を評価する(70%)。レポート課題を評価に加える場合がある, ②「授業内活動」「授業への参加」について評価する(30%)。この際, 毎回配付する「聴講カード」(リアクションペーパー)に記入することにより, 授業のふり返りを行い, 評価の判断材料の1つとする。 ・「評価の基準」(到達度)は, 以下の通りとする。 A 80 点以上, B 70 点以上 80 点未満, C 60 点以上 70 点未満, D 50 点以上 60 点未満, F 50 点未満 	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境ビジネスは新しい分野でもあるが, 「経済と環境の両立」や SDGs(持続可能な開発目標)はこれから人類が生存するためには避けて通れないテーマであり, 意欲を持って取り組んでほしい。 ・したがって, 欠席や遅刻, 授業中にスマホ閲覧・私語・居眠りが多い場合には, 学習意欲がないものと解釈される。 ・日頃から身近な地域経済の動きを観察する, 新聞やテレビ番組(例:NHK 総合①木曜 19:30pm~, 『所さん! 大変ですよ』), 関連ウェブサイトなどから情報を得るなど, アンテナを高くて関心や知識を深めておくこと。 - 環境省「環境経済情報ポータルサイト」 http://www.env.go.jp/policy/keizai_portal/index.html - 朝日新聞 Web サイト「環境・エネルギー」 http://www.asahi.com/eco/?iref=comtop_gnavi - 青森県環境パートナーシップセンター http://www.eco-aomori.jp/ 	
<p>〔実務経歴〕 該当なし。</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか):いま, なぜ環境ビジネスか?</p> <p>内 容:本科目で何を学ぶか, その内容やねらいについて概観し, 環境問題を市場メカニズムの中に取り入れた企業や市場からのアプローチに重点をおいた環境ビジネスの果たす役割について学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか):日本の20世紀, 高度経済成長と公害の克服</p> <p>内 容:高度経済成長を遂げたわが国は「四大公害病」を克服し, 大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済となったが, 「典型7公害」の概要と動向を整理し, 環境ビジネス萌芽の背景について学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):グローバル化する環境問題</p> <p>内 容:これまでの地球と人類がたどってきた道のりと, 人類が直面する9つの地球環境問題について学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>

第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):環境問題の進展と環境ビジネス</p> <p>内 容:公害と環境問題の発生の経緯と, 環境の産業化, 環境ビジネスの登場について学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):環境問題と経済との関係とは</p> <p>内 容:環境経済学的なアプローチから, 持続可能な社会を実現するための環境と経済を両立する様々な手法について学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):環境経営戦略と環境ビジネス</p> <p>内 容:産業の環境化, 企業の環境経営戦略, SDGs(持続可能な開発目標)への対応からみた環境ビジネスの展開について学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による記入することで</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):環境ビジネスの全体像</p> <p>内 容:中間試験(小テスト, 範囲:講義第1~6回)を実施し, その解説を行う。また, 環境ビジネスの市場分野や, 環境ビジネスの一般的な分類と広がりについて学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):廃棄物処理・リサイクル・循環型環境ビジネス</p> <p>内 容:循環型社会形成に向けた廃棄物処理・リサイクル・循環型資源活用等の環境ビジネスについて学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):省エネルギーと環境ビジネス</p> <p>内 容:わが国のエネルギーフローの中で省エネルギーの位置づけを確認したうえで, LED 照明, 燃料電池・水素ビジネス, 蓄電池など省エネルギー・有効利用等の関連技術の環境ビジネスについて学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):再生可能エネルギーと環境ビジネス</p> <p>内 容:太陽光, 風力, バイオマスなど再生可能エネルギー等の環境ビジネスについて学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):環境配慮型製品, ソフト・サービス系環境ビジネス</p> <p>内 容:エコプロダクツ, エコデザイン, エコカーなどの環境配慮型製品, グリーン・サービサイジング, カーボン・オフセット, ESCO 事業などのソフト・サービス系の環境ビジネスについて学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):地域資源活用型環境ビジネス</p> <p>内 容:自然エネルギー, 6次産業化, グリーン・ツーリズムなど地域資源を有効活用した環境ビジネスについて学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):東北地方における環境ビジネスの可能性</p> <p>内 容:東北地方の環境ビジネスの動向と企業事例について学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):青森県における環境ビジネスの可能性</p> <p>内 容:青森県の地域特性や産業特性とそれを活用した社会問題解決型の環境ビジネスの可能性について学ぶ</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):環境ビジネスの課題と将来展望</p> <p>内 容:日本の環境ビジネスの最新動向と今後の展望等について学ぶ。</p> <p>教科書・指定図書:担当教員作成のレジュメ・資料による</p>
試験	<p>期末試験(第1~15回の講義内容を範囲とした筆記試験)</p>